

授業科目	看護研究演習					実務家教員担当科目	○
単位	3	履修	選択	開講年次	4	開講時期	通年
担当教員	目野 郁子						
授業概要	<p>既習の知識・技術、理論や臨地実習の経験を基に、自ら看護に関する研究テーマを設定する。文献検討を深めて研究計画を作成し、研究方法、論文作成、研究発表等 演習を通して一連の研究活動の基本を学ぶ。</p> <p>以上のことについて、実務家教員として専門領域で臨床経験を有する教員が、各自その経験を活かし教授する。</p>						
授業形態	対面授業		授業 方法				

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 既習の知識・技術、理論、臨地実習の経験を基に、各指導教員とディスカッションしながら看護に関する研究テーマを設定できる。(DP2-1.4-2.4-3) 2. 研究テーマにおける問題解決や仮説を検証するために、倫理的配慮に基づく研究計画を作成できる。(DP2-1.4-2) 3. 研究計画に基づいて、調査研究や実験等を実施できる。(DP2-1.4-2) 4. 得られたデータの解析処理を経て、論文を作成できる。(DP2-1.4-3) 5. 研究のプレゼンテーションができる。(DP4-2)
理想的レベル	1. 自ら問題意識を持ち積極的な姿勢で、一連の研究過程（行動目標1-5）に取り組む。また、研究過程においては、倫理的配慮に留意し、研究対象者の権利についても考えることができる。 2. 論文作成のルールや技術を学び、指導教員の指導を受け、よりよき論文作成・発表に向け、文献検索や修正をいとわず、意欲的に行動し、完成度の高い論文をめざして努力することができる。 3. 発表抄録を作成し、効果的でわかりやすい発表となるよう、工夫することができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0%	
小テスト	0%	
レポート	70%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	10%	
レポート外の提出物	20%	課題提出、文献考察資料など
その他	0%	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	-	DP2	○	DP3	-	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NU31406J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

学習課題（予習・復習）

1回の目安時間（時間）

各担当教員より指示する。

1

授業計画

第1回	1. オリエンテーション（各担当教員） 看護研究演習のねらい、授業概要、到達目標、研究過程、評価等を説明する。 2. 研究における倫理的配慮、論文作成のルールや技術、文献検索等について各指導教員からレクチャーを受ける。
-----	---

	3. 学生は教員の指導・助言を受けながら、主体的に、倫理的配慮に基づく一連の研究過程に取り組む。
テキスト	特になし。必要に応じて文献等を紹介する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じ、担当教員が紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	課題達成については個別にフィードバックします。
学生へのメッセージ・コメント	既習の看護研究で使用した資料等を確認し、復習しておくこと。 レポートについては、関連する先行研究等を読み込み、倫理的配慮を行ったうえで、客観的・科学的に考察すること。 割り振られた時間内に限らず、指導教員と調整を図りながら自主的に研究に参加し、積極的に課題に取り組むこと。